

市大の 地域・社会貢献

PICK UP

01

市大生チャレンジ事業

食を通じた国際理解
旅するテーブル

国際学部 2 年

伊藤 綾乃（代表者）
砂田 優衣
西村 唯花

アドバイザー 教育基盤センター 特任准教授 平尾 順平

協働・連携する外部の団体

・三篠公民館
・株式会社フレスタ



マレーシアの家庭料理作り

本学の国際学部で多様な文化について学ぶ学生3名が、留学生との交流を通して食文化に興味を持つようになったことをきっかけに、海外の人と関わる機会が少ない小学生の子どもたちを対象に、食を通じて世界に目を向けてもらえるようなイベントを企画・実施しています。2024年8月には、子どもたちと一緒にマレーシアの家庭料理を作るイベントを開催しました。このイベントは、三篠公民館に会場の提供、株式会社フレスタに食材の提供と調理指導のご

本学は、広島市の公立大学として、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指して、地域・社会貢献を推進しています。ここでは、本学の地域・社会貢献活動から「市大生チャレンジ事業」「いちだい地域共創プロジェクト」「受託研究」の事例を紹介します。



市大生チャレンジ事業
本学学生の豊かな人間性を育むとともに、自主性や問題解決能力を養成することを目的として、選定した課題や地域などから提案のあったテーマに基づき、学生自ら計画、実施する地域・社会貢献活動です。



左から西村さん、伊藤さん、砂田さん

協力をいただくなど、多くの方に助けけていただいで開催できました。イベントには本学の留学生も参加して、自国の文化や宗教などについてプレゼンをしたり、民族衣装の試着体験なども行っています。参加した子どもたちが、食だけでなくその国の文化全般に親しみをもちやすいイベントになるように工夫しています。子どもたちの笑顔や興味津々な顔を見ることができ、学生の励みになっています。今後もより多くの子どもたちが世界に興味を持ち、ワクワクできるようなイベントを企画していきます。

本学留学生が国の文化や宗教などを紹介



研究室紹介

地域の企業で現場を観察し、自らを知る機会とする
国際学部・国際学研究科 講師 **山崎 雅夫** やまさき まさお

私は、人のマネジメントに関することを研究領域としています。専攻としては、経営学・人的資源管理論・経営組織論となります。主な研究内容は、能力開発とキャリアで、個人がどのようにすれば成長していくかを考えています。近年では、キャリアデザインという言葉が定着してきたように、キャリアを仕事としてだけでなく人生として捉えるようになってきています。これをライフキャリアという概念で呼びます。人生100年時代といわれる中で、個人が人生をどのように捉え、自らの価値を見出し、生き抜いていくかがポイントとなります。

研究室では毎年、3年ゼミ生と一緒にマツダ株式会社へ職場訪問として伺っています。これは、地域の企業を訪問し、その現場を観察するとともに、自らを知る機会として実施しています。職場訪問では、仕事



をされているところに伺ったり、社員の方々とディスカッションをしたり、特別施設であるマツダミュージアムを見させてもらっています。

キャリア(過去・現在・未来)を考えていく上で、現場を知っておくことはとても重要です。また、自分が見ている自分が、想像している自分と一致しているかは、他者や外部から得られることによって確認できることも多いです。毎年、ゼミ生からは、職場訪問後の帰り道で3つの変化を確認できます。変化とは、(1)より真剣な表情をするようになる、(2)問いかけが深くなる、(3)未来のことを考えるようになる、です。このように、山崎研究室では、地域の企業を訪問し、その現場を観察するとともに、自らを知る機会を提供するように努めています。

本学における学位取得者 ※敬称略

本学大学院における博士学位取得者(2024年度 秋季修了)

国際学研究科 博士(学術) SAMARAKOON S M MADHUWANTHI
UDUMBARA KUMARIHAMI

外部資金の獲得

本学の教員は、国の制度である科学研究費助成事業や民間からの研究費などを受けて活発な学術研究活動を行っています。これらの外部資金を活用し、独創的・先駆的な研究に取り組んでいます。

2024年度 科学研究費助成事業採択状況<研究種別>		
研究種目名	件 数	計
基盤研究(B)一般	2	12,485千円
基盤研究(C)一般	47	55,577千円
若手研究	10	14,168千円
合計	59	82,230千円

2023年度 受託研究費・共同研究費・補助金・奨学寄付金		
区 分	件 数	計
受託研究費・共同研究費	66	64,906千円
補助金	5	46,692千円
奨学寄付金	9	9,295千円
合計	80	120,893千円

West Breezeについての
ご意見やご感想はこちらへ

広島市立大学 広報委員会
E-mail kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
Tel 082 (830) 1666 Fax 082 (830) 1656



West Breezeの最新号・バックナンバーはウェブサイトからご覧いただけます。

広島市立大学広報誌のタイトル「West Breeze」は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されました。
[West Breeze 94号] 編集・発行/広島市立大学 広報委員会 発行日/2024年12月1日

表紙作品

2023年度
芸術学部講師(9月30日付け)
今野 健太
情報科学研究所助教(9月30日付け)
原田 翔太

「連結体 紡ぎ仮名」
Glyphsを使用したOpenTypeフォント
2023年度 修了制作
優秀賞



〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
Tel 082 (830) 1500 (代) Fax 082 (830) 1656
https://www.hiroshima-cu.ac.jp/

Hiroshima City University

地域共創センター



地域共創センターに名称が変わりました！

2024年4月、地域連携と研究推進を中心とした産学連携を強化し、地域共創に資する取り組みを一層着実に進めていくため、社会連携センターを改組して、地域共創センターを設置しました。主な取り組みとして、産学連携の推進、地域連携の推進、研究の推進、知的財産の管理と活用、学生の地域・社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。地域共創センターは、地域の皆さま、産業界の皆さまと大学をつなぐ窓口です。連携事業等のお問い合わせがありましたら、本学教員とのマッチングを行いますので、お気軽にご相談ください。

地域共創センター入りの看板を、芸術学部の永見文人教授が制作しました。



左から田村地域共創センター長、永見教授、若林学長

PICK UP

02

市大生チャレンジ事業

地域活性化のための
掲示板アプリ
CocBan(コクバン)

情報科学研究科 博士前期課程 2 年 **山崎 陽介**（代表者）
やまさき ようすけ
梅田 創
うめだ せい
山根 愛実
やまね あみ
ひろなか ずつお

アドバイザー 情報科学研究科 教授 弘中 哲夫

協働・連携する外部の団体
・広島市内の町内会
および自治会
・広島市



CocBanのウェブサイト



CocBan (YouTube)



CocBan (ウェブサイト)

CocBan(コクバン)は、地域のコミュニケーションをより円滑にすることを目的として、情報科学研究科の学生3名で開発・運営している掲示板アプリです。誰でも簡単に使えるインターフェースを備えた、地域の情報共有や助け合いを促進するためのツールです。町内会や自治会(以下、町内会)のイベント告知や電子回覧板などに活用していただき、CocBanを通じて、町内会イベント参加率向上や若者の関心を引き出すことを目指し、地域活性化に貢献したいと考えています。さらに、登録に必要な個人情報は名前のみとし、シンプルで使いやすい作りになることで、デジタルツールを導入する際の課題を解決しました。また、役員が登録者の閲覧確認をする手間が省けるように、既読機能等も搭載しています。

現在、安佐南区を中心に広島市の社会福祉協議会や町内会で導入が進み、一定の効果が得られています。2024



毘沙門台学区「LMO毘沙門台」の方にアプリを紹介

年度内に広島市の15%の町内会での普及を目指し、さらなる機能拡充を行いながら、地域に密着したコミュニケーションツールとして進化させていく予定です。

